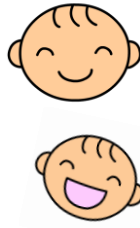


# にゅうようじきょういくそうだんつうしん ひなたぼっこ



2葛盲第517号  
令和2年8月19日  
乳幼児教育相談通信第5号  
東京都立葛飾盲学校長 忍  
田島

日頃より、本校の教育について御理解いただきまして、ありがとうございます。

1学期は「密を避ける」目的で、個別の相談を中心に実施させていただきました。子育てへの不安、進路についての疑問など、「会って話せる安心の場所」を十分に提供できなかったことについて、お詫びいたします。2学期以降の相談については、感染症対策を万全に整えながら、以下のように行っています。御理解の程、よろしくお願いたします。

なお、育児教室については、例年通りには開催できないことが見込まれるため、適宜、本誌上において情報の提供を行っていきます。今号では、小さなお子さんの視機能評価について掲載させていただきました。参考になさってください。  
(文責：丹羽弘子)

★ 個別相談は、1学期と同様、事前予約制とさせていただきます。1回の相談時間は1時間です。御希望に応じて、視機能や発達に関する評価も実施いたします。

★ グループ相談については、密を避けるために、1回につき3組の親子までの定員制とさせていただきます。前週の金曜から前日の木曜までに事前の御連絡をお願いいたします。参加親子が3組を超えた場合は、先着順とさせていただきます。

★ 育児教室の開催は、11月以降、感染症の拡大状況を見て判断いたします。それまでは、本誌において、「見えない・見えにくい」お子さんに関する話題を提供させていただく予定です。

★ 御来校の際には、御自宅での検温（親子とも）、マスクの着用（保護者の方は必ず・お子さんはできる限り）をお願いいたします。幼稚部保育室、幼稚部前庭以外の場所への移動は、原則お控えください（校内見学の御希望については御相談ください）。

## ～小さなお子さんの「視機能評価」について～

### 〈視機能とは〉

見え方を尋ねる際、「視力はどれくらいですか？」という言い方をすることがあるかと思えます。視力とはモノの形状を識別する力です。

しかし、見るという機能は、モノの形状を識別する視力の他、見える範囲である視野、明暗への順応、目の動かし方（眼球運動といいます）、色の識別など、様々なたらきが協調し、その人の「見える」あるいは「わかる」ということにつながっています。視力を含め、その人の目のはたらき全般を「視機能」といい、その評価を「視機能評価」といいます。

### 〈保育環境において視機能を評価する意味〉

盲学校で行う視機能評価は、医療機関における検査とは環境が異なります。医療機関における検査は、診断・治療に必要な情報を得るための検査です。医療的な環境が整った設備の中での検査となります。

一方、盲学校などの保育環境下での視機能評価は、普段の保育、遊びの場に近い環境での評価となります。学校の壁面の色は、病院のように真っ白だったり、検査室のように真っ黒だったりはありません。部屋には棚や机など、生活に使うものが置いてあったりします。盲学校における視機能評価は、子供たちが、普段の生活の中で、どのように目を使っているのかということを探ることが目的です。そこから、お子さんの、よりよい生活、遊びへの工夫を考えていきます。

### 〈お子さんの自覚を大人の他覚で判断する〉

一般的に視力検査で使われている「ランドルト環」。広島カープのマークのような「C」の形の、どこが空いているかを答える検査です。「右」「下」などの方向の意味が分かって、正しく答えることができるまでの認知の発達段階でなければ、使うことはできません。

「ランドルト環」での測定が難しい発達段階のお子さんには、グレーティングカードといって、縞模様で視線を移すかどうかを、他覚的に見て判断する検査法を使用します。言葉のない乳幼児の視力検査法として開発されたもので、現在本校には「T・A・C」（テラ・アキュイティ・カード）と「リー・グレーティング」があります。

また、縞模様に気づかない様子のお子さんには、目の前で手を差し出して気づくか（指が何本かわかったら「指数弁」）、目の前でゆらゆら動く手の動きに気づくか（「手動弁」）、光への反応があるか（「光覚弁」）などの様子を観察します。「突然部屋が暗くなったら泣き出した」ということは、明暗が分かる、つまり光覚弁ということ。また、「目の前で大人の手が揺れると、ふふっと笑った」ということは、手の動きに気づいている、つまり手動弁ということ。

さらに、小さなお子さんの視野測定は、正確な測定が難しいのですが、左右上下、様々な方向からの刺激への気づき方を観察します。「クマが出てくるかな、カエルが出てくるかな」と、お子さんにとって馴染みのある小物を使うこともよくあります。その他、眼球運動、色覚検査、視知覚に関する検査などを行います。ここでは省略します。

以上、小さなお子さんの視機能評価について、簡単に紹介させていただきました。評価をする上で担当者として大切にしていることは「怖がらせない」ということです。泣いてしまったら最後、その日の検査はもうできません。安心して、楽しいことをしてくれる人という信頼関係が大切です。そんなことを心掛けながら、相談活動を続けています。

9月のグループ相談の活動内容を以下のように計画しております。時間は、午前10時から11時半です。内容は、施設、素材、天候などによって、変更することもありますので、御了承ください。

## グループ相談（いちご組）



期日	曜日	内容	場所	ひとこと
9月4日	金	外あそび	幼稚部前園庭	外気に触れて体を動かしましょう／水や砂の感触を体全体で味わってみましょう。
9月11日	金	外あそび	幼稚部前園庭	外気に触れて体を動かしましょう／水や砂の感触を体全体で味わってみましょう。
9月18日	金	外あそび	幼稚部前園庭	外気に触れて体を動かしましょう／水や砂の感触を体全体で味わってみましょう。

## 行事のお知らせ



期日	曜日	内容
9月23日から30日まで		学校見学会（全校の様子を御覧いただけます。事前申し込み制です。別プリントにてお知らせします。）

【連絡先】 東京都立葛飾盲学校 tel : 03-3604-6435 fax:03-3602-9096

担当：丹羽（にわ）弘子